

日産自動車社長會見と記者の追求不足

兒玉 稔

日産自動車ゴーン會長、會社を私物化すとの記者會見ありて西川社長縷々説明す。彼、ゴーンの罪を言へども自らの非、責任につきて觸れず。ゴーンが有價證券報告書（有報）に自らの報酬を詐はりて過小に記載すと述ぶる様、あたかも他人事の如し。これ許すべきか。

有報は株主が投資情報を得る重要書類にして法が作成を義務付る。これに虚偽を記載するは投資家に對する背信なり。社員もしその記載の誤りを知らば、直に訂正の要あり。敢て訂正せざる者は處罰對象となる。

本件の詐りを知る者は、ゴーンが得る報酬實額と有報記載額の雙方を比較し得る者なり。報酬を支給する社員が有報記載の數値を知らず、有報作成する社員が支給實額を知らざることもあるべく、いづれも虚偽に氣附がずとの辯解一應可能ならむ。

當の西川社長は如何か。我思ふに、同社長、虚偽を知りつゝこれまで放置せるに相違なく、投資家を欺きたる罪はゴーンと同じ。テレビにて會見實況中繼を見、自らの反省を言はずゴーンの惡事のみを鐵面皮に説明する社長に不愉快を感じ、そを追及せざる記者連を情け無く思ふ。

もし記者、西川に對して汝は虚偽記載に氣附かざりきやと問はば、社長業務多岐多忙にして、有報の數値をいちいち確認せずとの辯解準備ありしものと想像す。

我はこの辯解を許さじ。何となれば、有報は内閣總理大臣に提出する書類なれば印刷前の原稿段階および完成製本の分いづれも會社トップ層に必ず回付せられ、その際、社長いかに多忙と言へども、他の項目は兎も角、少くも報酬個別記載の欄はチェックするを信ずればなり。そは、自らの収入を天下に晒すものなればなり。

而して西川、隣の行にあるゴーンの額、嫌でも目に入らざることなし。ゴーンに支拂ふ報酬實額を、社長として又自分が得る報酬との比較上、必ず知る彼、有報の記載額に不審の念を抱かざるべからず。本年六月末日産自動車提出の有報をネットに見ば、個人名入り報酬額は當該二名のみの記載にして、ゴーン總報酬七三五萬圓、西川總報酬四九九萬圓。金錢報酬欄にも同數値を記載し、兩數値を上下に並べ線で圍みての明示なり。

西川が己が罪を言はざる、狡猾なれども人としては理解し得る行動にて、また事態落着きたる後に責任を取るつもりの可能性無きにしもあらざれども、多數集りたる記者のうち本論點を誰一人追及せざる、これ實に残念の極みにこそあれ。記者の腑甲斐無き、不勉強なる、を如實に示すものなり。

事件發覺後數日を経て未だこの點の報道無きは、メディア陣、有報虚偽を言ひつゝ有報そのものをチェックせざる故にあらざるや。有報は公表物なれば、株主ならずとも金融廳サイトより辿りて見らる。記者等の、事實を確認して積上る基本作業の不足、ここに表はると解せざるを得ず。

なほ、長時間の記者會見、中途にて放送打切られ、全質問を見ざりき。とは言へ本論點に關はる報道本日迄無ければ、假に當日に西川の説明ありとしても記者等注目せざるもののごとし。

ゴーンの處罰當然としても記者等、西川及びその周邊者の犯罪につきても真相を明らかにすべし。

（平成三十年十一月二十八日受附）